

- 1 日時 平成 年6月2日(金)
- 2 単元名 『火事を防ぐ』(6時間扱い/本時は第5時)
- 3 本時の目標  
消防士の服装や鎌田出張所における出動回数を検討する活動を通して、消防署の人たちは、より早く火事を防ぐために、普段から訓練や点検・広報活動などに努めていることを理解する。
- 4 本時の展開

学習の流れと予想される子どものあらわれ	留意点						
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">学校の回りで火事が起きたとき、消防車は何分くらいでやってくると思いますか？ こんなに早く来るためには、119の電話はまずどこにかかるとのらう。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">鎌田出張所      通信司令室      近くの消防署</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近くの消防署だと人が少ない。</li> <li>・警察と同じように、まず本部に電話がかかりそこから指令が出る。</li> <li>・火事の方がもっと急いだ方がいいから、司令室があると思う。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">今日は消防士さんにきてもらいました。この消防士さんのおかしなところはどこだらう？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・服装が違う</li> <li>・ヘルメットが教科書と違う</li> <li>・手袋をしていない</li> <li>・ゴーグルをしていない</li> <li>・ベルトをしていない</li> <li>・服が燃えてしまう服</li> <li>・ボタンがついている</li> <li>・ホースの太さが違う</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">鎌田出張所における昨年度の出動回数を見て見よう。これを見ると、4.3日に一度出動すればいいみたいだ。消防士さんは、火事が起きるまで遊んで待っていればいいのか？</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">消火や救助の訓練      消火栓の点検</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">消防自動車や器具の点検      火災予防を呼びかける</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・火事が起きてすぐに現場に行けるように。</li> <li>・火事の本番のときに困らないように準備をしている。</li> </ul> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">少しでも早く火を消すために、普段から準備をしているんだな。</p>	<p>警察本部で見学した通信司令室を思い出させる。</p> <p>火災(消防)と事件(警察)で、より緊急性が高いものはどちらかを考えさせる。</p> <p>教科書で確認させる。</p> <p>消防士が登場する カップ・ホース・軍手・ヘルメット</p> <p>教科書や消防士の写真を見て比べさせる。</p> <p>鎌田出張所における災害出動  <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>災害出動</td><td>24件</td></tr> <tr><td>救助・偵察出動</td><td>60件</td></tr> <tr><td>合計</td><td>84件</td></tr> </table> </p> <p>ノート作業 板書後、一つ一つについて、検討をしていく。</p> <p>予想した(仮説を立てた)後、それを証明する資料を、教科書や資料集から見つける。</p>	災害出動	24件	救助・偵察出動	60件	合計	84件
災害出動	24件						
救助・偵察出動	60件						
合計	84件						